

# 東地域まちづくり協議会だより 第11号

## 第3回東地域夏季ふれあいラジオ体操無事終了!

東地域まちづくり協議会 会長 大嶋 充

8月4日(日)、比美乃江公園で今年もラジオ体操を行いました。諏訪野地区の皆様にも参加していただき、ひみまつりが実施された会場周辺の清掃活動を行いました。約300人がラジオ体操と〇×クイズで交流を深めました。

当日は、海からの風も吹き、比較的活動しやすい天候でした。今年は、ラジオ体操第2にも挑戦し、東地域住民の3世代が一層親睦を深めることができました。

8月18日(日)、「東地域親子でひみの万葉めぐり」を実施しました。比美乃江小学校3年生から6年生の親子を含む27人が万葉集に関する歌碑を訪ね、氷見の歴史や文化について触れ、理解を深めました。

市教育委員会の課長補佐小谷超様と東地域在住のつままの会元会長の鏡正子様のご案内で、本町北陸銀行付近の湊川沿いや漁業文化センター前にある歌碑など、5か所を巡りました。



### 参加した児童の感想

地域のいろいろなところに万葉の歌碑があることを教えてもらい、びっくりしました。そして、私たちのすんでいる東地域には、歴史がありすばらしい文化が残っていることを教えていただきました。もっと万葉集や地域の歴史などに関心をもって、これからも勉強していきたいと思いました。

魚の革でしおりをつくったことも、夏休みの楽しい思い出になりました。



見学後、市役所で地域おこし協力隊の野口朋寿氏の魚の革を材料にしたしおりづくりも体験し、楽しく充実した半日でした。

今回参加した児童が、将来地域のリーダーとして中心的な役割を果たし、誇りある地域の歴史や文化を守る後継者として、また、郷土の素晴らしさについての語り部として活躍してくれることを願っています。

## あいさつ運動について

第10号でもお知らせしましたが、東地域ではあいさつ運動に取り組んでいます。7月7日（日）、北日本新聞1面の「天地人」の欄に、あいさつについて次のような記事が掲載され、このほど、比美乃江小学校の谷内口校長先生が届けてくださいました。学校・家庭・地域ぐるみのあいさつ運動の成果として、その内容を地域の皆様にお伝えしたいと思います。

学校帰りの小学生だろう。大きなランドセルを背負った小さな男の子だった。交差点の横断歩道で擦れ違ふと、「こんにちは」という元気な声が飛んできた。少しびっくりしながらも「こんにちは」と返したが、心の中をさわやかな風が吹き抜けたようなすがすがしい気持ちになった。氷見市の街中での体験である。男の子に特別なことをしている様子はなく、いつものあいさつを当たり前のように行っている感じだった。軽やかに走り去った後ろ姿を見ていたら、映画のロケで氷見に滞在していた俳優がこんなエピソードを話していたことを思い出した。仕事先でも毎朝の日課にしているジョギングに出ると、通り掛かった子どもたちが、見知らぬ私に「おはようございます」とあいさつする。都会では信じられないことであり、すごく感激したという。通学途中の子どもたちが襲われたり、交通事故の巻き添えになったりするなど悲惨な出来事が相次いでいる。見知らぬ大人が子どもに下手に話し掛けたり、不審な声掛けとして警察に通報されかねない；物騒；な世の中でもある。それだけに氷見の子どもたちの屈託のないあいさつに、まるで別世界にきたような強い印象を受けたのだろう。

心地よいあいさつは、人と地域を幸せにする；魔法の言葉；である。そのことを、氷見の男の子の自然な振る舞いに改めて教えられた。

という内容がコラム欄に掲載されました。まちづくりで大切なことは、このような習慣を続けていくことではないでしょうか。東地域には、ひみ番屋街や漁業文化交流センターなどの大型施設があります。氷見を訪れる皆様にこれからも、言葉のお・も・て・な・しの大切さを改めてこの記事から学ぶことができました。

東地域まちづくり協議会では、これからも学校・家庭・地域の結びつきを一層強くし、ベクトルを合わせてあいさつ運動に取り組んでいきたいと思っています。

## お 知 ら せ

10月12日（土）午後7時から、いきいき元気館において「市長ふれあいトーク」が予定されております。広報でもお知らせがあると思いますが、本紙でもお伝えします。